

東寿苑だより

2016.
Vol.13

発行 社会福祉法人 草雲会 〒699-0108 島根県松江市東出雲町出雲郷493 TEL (0852) 52-3330 FAX (0852) 52-5296



特別養護老人ホーム 東寿苑 春のご家族交流会

目次

- ご挨拶 2
- ボランティア紹介 2
- オレンジカフェ「おちらとカフェ」の開店と社会福祉法人としての役割 3
- 特別養護老人ホーム東寿苑・東寿苑デイサービスセンター・憩いデイサービスセンター 4
- 介護支援センター和み館・グループホームあしたか・東寿苑ヘルパーステーション 5
- 東寿苑居宅介護支援センター・おちらと村 6
- 東寿苑祭り・ホームページ・ブログの紹介 7
- おひとりさまの介護保険 8
- 各事業所案内図 8

ご挨拶

社会福祉法人草雲会 理事長 佐草英利

昭和63年に創立いたしました草雲会も今年で28年を迎えました。

今日まで高齢者福祉の一助を担わせていただくことが出来ましたのも、ひとえにご利用者様やご家族様のご理解とご協力、そしてたくさんの地域の皆様のお力添えによるものと心より感謝申し上げます。

開所当時は措置制度の中でスタートいたしましたが、平成12年に施行された介護保険制度により福祉事業のあり方が大きく変化する中で、本年4月に施行されました社会福祉法人制度改革において、社会福祉法人として果たすべき「公益性・非営利制の徹底」「国民に対する説明責任」「地域社会への貢献」等について原点に立ち戻り再構築することが求められています。もとより私ども草雲会は、地域の共有財産として皆様すべての安心と安全を守ることを矜持としてきましたが、2060年に65歳以上の高齢者が国民全体の約40%を占めると推計されている超高齢者社会を見据え、いっそうの覚悟を持って皆様の負担に応えたいと考えているところです。

どうかこれからも皆様の東寿苑として、お役に立たせて頂きますよう、ますますのご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。挨拶といたします。

ボランティア・地域活動紹介



草雲会では様々なボランティアの方々に支えられています。

ボランティア活動をしていただける方を随時募集していますので、お気軽にご相談、ご連絡ください。

見学も随時受付しております。

オレンジカフェ「おちらとカフェ」の開店と 社会福祉法人としての役割

東寿苑グループでは、行政などの助言のもとに、本年7月より第2水曜日、第4土曜日の月2回オレンジカフェ「おちらとカフェ」を上意東のおちらと村にて開店いたしました。目的としては、カフェという「語り場」で認知症の方への理解を深め、学びあう場所として、あるいはゆっくりと安心してお話しができる場所を考えています。もちろん医療や介護が必要な方は医療機関や介護施設などの利用がもっとも相応しい場所であることは承知しています。つまり、「おちらとカフェ」は存在しても、しなくても何も変わらない空間。あるいは、無いよりはあったに越したことはない程度の存在として、緩い空間の中にありながらも、しかし、人と人との結節点になることで、ご本人やご家族が決して孤独にならない場所でありたいと願い開店いたしました。

次に運営の基本的な考え方ですが、カフェの運営だけでなく、認知症についての啓発や学習の機会を設けること、またボランティアの育成を担う場であるべきと考え「カフェ運営会」を設置し、図1のような事業展開を考えています。これは、例え認知症になっても安心して暮らし続けることのできる東出雲町であって欲しい、と願いそのためには「社会福祉法人としてどのような貢献が皆様にできるのか」を考えた結果と言えます。ただ、ここだけ見ると、「上から目線で見ている」と思われる方がいるかも知れません。しかし、実際には泥臭く、地域の皆さまを初め行政、社会福祉協議会の皆様とともにあいまみえながら歩いていきたいと考えています。

写真は、8月20日（土）に開催したエスポアール出雲クリニック高橋幸男先生講演会「認知症と向き合う～認知症の人の心の世界」の講演会風景の写真です。町内外から100名を超えるご参加があり、地域の皆様の関心の高さを窺うことができました。また、講演では認知症を抱える皆様が抱える不安や思いの一端を窺い知ることができ、また、感性の豊かさについて改めて知るきっかけになったかと存じます。

東寿苑グループでは、「おちらとカフェ」と「運営会」による地域への支援だけでなく、医療と介護との連携を深めることを目的に昨年10月に発足した「東出雲地域ケア多職種ネットワーク（通称：やらこい東出雲）」の運営に積極的に協力させて頂き、老後も安心して住み続けることのできるまちづくりを目指し微力ながら協力させて頂いております。

さらに、今後私共が持っている「介護」を地域へ積極的に発信し、地域住民の皆さまと交流させて頂きながら、「ともに学べる場」、「集える場」を作るべく、現在計画しております。

何分微力ではありますが、今後とも皆様方のご指導とお力添えをお願い申し上げます。

地域支援室所長 齊藤 文章

図1) おちらとカフェ 5本の柱

啓発： 市民公開講座の開催

学び： 介護保険事業者向け講演会

育成： ボランティアの養成

見守り： 地域の見守りネットワークへの協力

集い： 介護者の方への支援

講演会風景



特別養護老人ホーム 東寿苑

☎ (0852) 52-3330

主任介護員 管井 里美

「主役はご利用者様」をテーマに一人ひとりの個性や能力を大切に、あたたかいケアを目指しています。4月～6月の行事を紹介します。行事部会では、初めての企画としてお菓子バイキングの企画をしました。また、理学療法士の石川純一様を迎え、「ポジショニング講習会」の研修を行いました。正しいポジショニング、褥瘡予防、体位変換の仕方など実技を交えた講習で、当日は、近隣の事務所からの参加をいただき、日々の介助技術を見直す機会となりました。ご家族交流会で松江フォーゲルパークに出掛けました。当日は雨も降ることなく、利用者様やご家族様は、たくさんの花の中で終始笑顔が見られ、限られた時間を楽しめました。



東寿苑デイサービス センター

☎ (0852) 52-3330

主任生活相談員 田邊 誠二

東寿苑デイサービスセンターは特別養護老人ホームと併設しており、入浴設備も大浴場の他にジェットバス付きの特殊浴槽もあり、寝たままの入浴も可能です。送迎車や車椅子も豊富で、マイクロバスでの外出も楽しんで頂いています。通常実施区域は東出雲町、竹矢町、八幡町、馬潟町、富士見町ですが、ご要望があれば他の区域からでも出来る限り対応させていただきます。障がい者の基準該当生活介護も送迎サービス付きで実施していますので、ぜひ当事業所をご利用いただきますよう、ご相談、見学をお待ちしております。



憩いデイサービス センター

☎ (0852) 52-4484

所長兼主任生活相談員 重松 幸子

憩いデイサービスセンターと言えば、風光明媚・四季折々の大山、中海の素晴らしいロケーションが皆様をお迎えします。デイサービスのプログラムではリンパ体操・玄米体操・座位体操等の各種体操を充実させ、更に4月からは作業療法士(OT)を配置し、個別機能訓練をより強化しています。元気で楽しく機能維持をしていくことに努めています。

訓練外出でのドライブは季節の花や風景を求めて、室内レクリエーションは個別やグループで楽しめるメニューを準備しています。お気軽にお出かけください。



介護支援センター 和み館

☎ (0854) 21-0511

管理者 齊藤 光子

介護支援センター和み館は、安来市飯島町にあるデイサービスです。

今年度4月より、地域密着型の通所介護施設となりました。一日の利用者数約15名で家庭的な雰囲気でお過ごし頂いております。個別の関わりを大切に、その方にあった趣味活動を、提供しております。集団で行うレクリエーションも、笑顔が絶えません。季節ごとに、ドライブや、おやつ作りも行っております。

又、地域のボランティアにも多数お越し頂き、演奏や、踊り、ダンス等披露して頂き、ご利用者様も大変喜んでおられます。今後も、地域の方の繋がりを、大切にして、サービスを、提供していきたいと、考えております。

いつでも、お気軽に、お立ち寄り下さい。



グループホーム あしたか

☎ (0852) 52-6181

ホーム長 足立 由美子

9名のご利用者様には家庭でされていた食器洗い、洗濯物たたみ、料理など家事全般を協力し合っ
て和気あいあいと楽しく過ごしていただいております。

時には、桜、つつじ、あじさいなど季節毎の花を見に、車で出かけます。気分転換になり、
一番の楽しみです。地域の方とのふれあいを大切にしたいと考えています。実習やボランティアも
積極的に受け入れています。いつでも見学は大歓迎です。気軽にお立ち寄り下さい。



食器洗い



ちらし寿司作り



洗濯物たたみ



荒島の王陵の丘のつつじを見に行きました

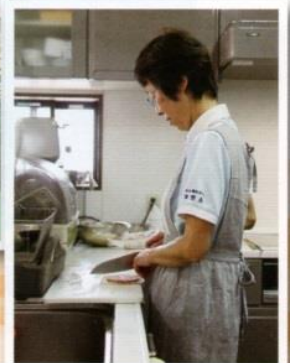
東寿苑ホームヘルパー ステーション

☎ (0852) 52-5988

サービス提供責任者 小川 静

ホームヘルパーステーションでは、在宅でお暮らしの高齢者の
方や障害をお持ちの方が、ご自宅で自立した暮らしが継続できる
ようにと、家事援助（掃除、買い物、調理）や身体介護（入
浴介助、食事介助、排せつ介助）などを通して支援させていた
だいております。なお、よくホームヘルパーはお手伝いさんの
ように思われがちですが、介護技術を習得して、その方に必要
な家事援助などをその場で組み立てる専門性を持っています。
また、日々統一した支援が、一貫して提供できるようチーム内
での情報の共有を常に心がけ支援に当たっています。

これからもご利用者様が安心して訪問介護を利用いただける
よう日々研鑽してまいりますのでよろしくお願いいたします。



東寿苑居宅介護支援センター

☎ (0852) 52-6068
主任介護支援専門員 菅原 朋代

私たちは、介護サービス計画（ケアプラン）の作成を行い、高齢者の方々が病気になられても、住みなれた地域で暮らし続けることが出来るようにお手伝いさせていただきます。

週に1回開かれるミーティングでは、情報交換や勉強会を行い、'チームワーク'を大切にあらゆるケースに対応できるように努めています。

介護のことで分からないこと、ご不安なこと、お気軽にご相談ください！

今年は、皆様にメッセージを添えたお誕生日カードをお送りしています。



おちらと村

☎ (0852) 52-7888
統括責任者 福原 慶子

上意東の大自然に囲まれた介護予防拠点施設です。

からだ元気塾、おちらとサロン、木彫同好会、パソコンサロン、絵手紙サロンなど、幅広い年齢層の皆さんが楽しく参加されています。

7月からオレンジカフェ（認知症カフェ）が始まりました！！

物忘れが気になる人、認知症について学びたい、語りたい人どなたでも参加OKです。

囲炉裏を囲んでお茶しに来てみませんか？



ほたる祭り

6月18日に東出雲おちらと村でほたる祭りを開催しました。

当日は、1400名の皆様に来村いただきました。

皆様、ご協力ありがとうございました。



模擬店

どら焼き、つりきちラーメン、
お好み焼き、ワークハウスしのかめ、
わこう苑、そらまめらんど（餃子）、
焼きそば、カツカレー、山菜おこわ、
いか焼き、射的、ヨーヨーつり、
ドリンク、ストラックアウト

イベント

- | | |
|-------|-----------------|
| 10:30 | オープニング |
| 10:40 | 一字川会 安来節 |
| 11:10 | 出雲郷幼稚園 遊戯 |
| 11:40 | れいこ高橋 マジックショー |
| 12:10 | 休憩 |
| 13:00 | ひがしいずもプラス |
| 13:30 | ボランティアコーラス ひまわり |
| 14:00 | 東出雲太鼓 夢玄 |

イベント内容、時間などは予告なく変更になる場合がございます。

とき

2016.10.9 日
10:30 ~ 15:00

ところ

東寿苑正面駐車場
雨天決行

ブログ



<http://so-unkai.cocolog-nifty.com/blog/>

ホームページ



<http://www.so-unkai.jp/>

未来を地域の方とともに、感謝を込めて



東寿苑 まわり

福引 今年も福引!!

旅行券3万円、神戸牛ギフト券、
キャンプセット、スロージューサー、
セラフィットフライパン、
枕マッサージ器など

東寿苑健忘日記 One Love One Heart

※健忘、忘れやすい等、高齢者に特化した記事をお送りいたします。

ブログのスクリーンショット

記事一覧

記事タイトル

記事本文

記事画像

ブログ



<http://so-unkai.cocolog-nifty.com/blog/>

ホームページのスクリーンショット

社会福祉法人 草雲会

活動内容

施設紹介

お問い合わせ

社会福祉法人 草雲会のホームページへようこそ

あなただけの草雲会を体験してください。

ここでは、社会福祉法人草雲会のホームページです。草雲会は、高齢者の生活、福祉の向上、社会福祉の発展に貢献することを目的として活動しています。また、地域住民の福祉に貢献するためにさまざまなサービスを提供しています。今後とも地域住民の福祉に貢献するために活動していく所存でございます。より一層のご支援のほどをよろしくお願い申し上げます。

ホームページにリニューアルし、ページが読みやすくなりました。その際はメンバーの表示が最新の情報に更新され、アクセスしていただき、よろしくお願いいたします。

★お知らせ

2016年10月1日、東出雲太鼓「夢玄」の演奏会を開催しました。当日は、東出雲太鼓の演奏会が盛況で、多くの方にご参加いただきました。誠にありがとうございました。

2016年9月30日、東出雲太鼓「夢玄」の演奏会を開催しました。当日は、東出雲太鼓の演奏会が盛況で、多くの方にご参加いただきました。誠にありがとうございました。

ホームページ



<http://www.so-unkai.jp/>

One Love One Heart

～おひとりさまの
介護保険～



今回は『家族介護』について少し考えてみます。

介護サービスに携わっている私たちでも、自分の肉親（親や兄弟など）の介護に直面すると冷静でいられなくなることがあります。私自身も自分の親が要介護状態となり、介護を受けないと生活ができない状態になった時は非常に辛い思いをしました。

仕事で関わっている利用者の方には、例えそれが排泄の失敗をされた直後でもニコリ微笑むことができるのですが、それが一たび自分の親で全ての責任が自分の双肩に乗ってくるとそんな余裕は全く無くなり、つい声を荒げてしまったり、ひどい時は手荒い世話をしてしまったり…と、思い出すと反省ばかりです。

身体的な世話ばかりの時はまだよいのですが、それに認知症状が加わってきたりすると状況はもっと深刻になります。同じ話の繰り返し、被害的な妄想など、それが家族に対して向かってくると、もう介護どころの騒ぎではありません。

そんな時、やはり介護サービスを利用されるのが良いのではないのでしょうか。

家族で看っていて一番手のかかる部分「入浴」「排泄」などの身体的な介護、そして「認知症状への対応」などプロの介護サービスを利用していただきたいと思います。

そしてご家族は、その方にとって一番大切な『コミュニケーション』（コミュニケーションとは、年をとっても体が動きにくくなっても、認知症になっても、その方がその方であるための大切な時間）を担当していただくと、ご本人もご家族もニコリできる時間が増えるのではないのでしょうか。

今や在宅サービスだけではなく施設サービスも色々な種類があります。認知症対応型の施設（グループホーム）やサービス付高齢者住宅、リハビリを行う施設（老人保健施設）、また最重度の方を受け入れる特別養護老人ホーム等が地域の中に出ています。それらをおひとりお一人ごと必要な形にコーディネートし、心地よく利用していただけるよう私たちは支援していきたいと考えています。

（東寿苑居宅介護支援センター TEL 52-6068 主任介護支援専門員 菅原 朋代）

各事業所案内図

